

No.2342

お風呂とお酒と硫黄岳

夏沢鉱泉～硫黄岳

実施日 平成20年3月7日～8日(金～土)

天候 快晴

リーダー 馬場 清士

参加者 斎恵美子、金丸徐子、若村勝昭、
服部美千代、島本陳重、鈴木恵美子
計 7 名

費用 交通費 8,600 円

宿泊費 10,500 円

費用 計 19,100 円

コースタイム 1日目 茅野駅(13:08 送迎車)夏沢
鉱泉(14:30) (泊)

2日目 夏沢鉱泉(7:00)オーレン
小屋(8:10)夏沢峠(8:55)硫
黄岳(10:30～10:50)夏沢
峠(11:20)オーレン小屋
(11:50)夏沢鉱泉(12:20～
14:20 送迎車)茅野駅。

1日目 茅野駅に降り立つと、空は真っ青、天気快晴風は微風で穏やかな日和。早速、夏沢鉱泉の送迎車に乗り込み茅野駅を後にする。街中を抜け別荘地帯を過ぎる頃には雪景色となる。唐沢鉱泉の分岐で雪上車に乗換え、シラビソやシラカバ等の樹林帯に行く。林道の積雪は2メートル位か、左右に大きく揺れながら、時速10キ口前後で約50分走り夏沢鉱泉に到着。本日はこぶし会貸切の宿で、3時頃から鉱泉に入り、5時過ぎからの夕食は鍋中心の豪華な夕食であった



2日目 天気快晴、朝食を済ませて冬山の装備を



し7時に出発。樹林帯の中をサクサクと雪を踏みしめて行く。夏道より歩きやすく気持ちいい。オーレン小屋の前

で小休止、見上げると硫黄岳が覗いている、まだ小屋は開いておらず松飾が架かっていた。雪で小屋が半分位埋まっていた。夏沢峠を過ぎると硫黄

岳の登りにかかる。踏み跡を外すと膝くらいまで潜る。樹林帯を過ぎ、ハイマツの上に積もった雪がアイスバーン状



になっている斜面を、アイゼンを利かして慎重に登る。名物の西風が珍しく吹いていなく、初めての冬山参加者にとってはラッキーな日だ。夏沢峠から1時間30分を掛けついに冬の硫黄岳に立つ



た。真っ青な空と太陽、目前に横岳、赤岳、中岳、阿弥陀岳が迫りその奥に権現岳の顔が見える。北、南、中アルプスをはじめ360度の眺望は素晴らしい。夏の展望とは違う白の世界が美しい。山頂からの展望を堪能し、来た道を慎重に下山した。昼過ぎに夏沢鉱泉に戻り、入浴、昼食を済ませ送迎車で茅野駅に向かった。天気に恵まれ雪の中で楽しんだ2日間でした。



(記・馬場 清士)